

# なかくふれあい助成金の 申請がはじまります!

なかくふれあい助成金は、地域福祉推進のために、主に中区内で活動している市民活動団体に活用していただく助成金です。4月より、平成31年度分の申請が始まります。今年度も中区社協は地域の福祉活動を応援します!

**受付期間** 平成31年4月10日(水)～4月26日(金)、  
5月7日(火)～5月15日(水)

※新規立上事業区分

平成31年4月1日(月)～12月27日(金)

**受付時間** 期間中の月～土曜日 午前9時～午後5時まで  
(郵送・メール不可)

**受付窓口** 社協)横浜市中区社会福祉協議会  
(中区山下町2 産業貿易センター4階)

詳しくは・・・平成31年度なかくふれあい助成金手引きをご覧ください。  
手引き配布場所：中区内地域ケアプラザ、なか区民活動センター  
～横浜市中区社会福祉協議会ホームページからダウンロードできます。



発行所：社会福祉法人 **横浜市中区社会福祉協議会**  
横浜市中区山下町2 産業貿易センタービル4階  
☎ 045-681-6664 FAX 045-641-6078

中区社会福祉協議会 検索  
http://www.nakasha.net  
info@nakasha.net



## いいネ! このまち!! 中区の絆



横浜市立港中学校吹奏楽部の皆さんが圧巻の演奏を披露! お馴染みの名曲やみんなで楽しめる楽曲を披露していただき会場は大いに盛り上がりました!!!

中なかいいネ!  
推進会議  
川上委員長



ことぶきゆめ会議  
梅田さん



HOMMOKUもくり  
今関さん

平成31年2月19日(火) 横浜市開港記念会館にて『平成30年度中なかいいネ! 発表会&第34回中区社会福祉大会』が開催されました。

社会福祉大会では社会福祉功労者の表彰が行われ、28名14団体の皆さまが受賞されました。また、中なかいいネ! 発表会では「リトルファーム HOMMOKU もくり」と「ことぶきゆめ会議」の2団体から取組の様子をお話いただきました。

今年度は第3期中区地域福祉保健計画「中なかいい

ネ!」の中間年です(5年計画の3年目)。

各地域ではこれまでの取組を振り返るとともに、「こんなことを始めてみたい!」というご意見も多く出されるなど、あらたな福祉のまちづくりに向けた、熱い思いが伝わってきました。

来年度からは第4期計画の策定に向けた検討もはじまります。「えん」と「元気」を未来につないでいくために、皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。

### ボランティア活動功労者の紹介 ～横浜市立本牧中学校ボランティアの会～

今回受賞された本牧中学校ボランティアの会は、障害のある方と地域の方がともに楽しむことを目的とした「ボレボレまつり」において、長年に渡り、ボランティアとして活動されています。今年度も、的当てなどのゲームコーナーを担当し、たくさん子ども達でにぎわっていました。「ボレボレまつり」は中区障害者団体連絡会が主催で22年続いており、毎年「本牧いずみ公園」で開催されています。



おめでとう  
ございます

### 平成30年度社会福祉功労者顕彰受賞者 (敬称略・順不同)

- 地区社会福祉協議会 役員功労表彰** 松本利康/米山満/笠間哲生/板垣好昭/塚田信剛/五十嵐邦夫/寺田秀雄/大久保迪夫/田代貞代
- ボランティア活動 功労表彰** 田口ゆき子/熊谷悦子/多田茂子/河野文代/齋藤潤子/矢部伸子/堤美和子/横田幸子/中谷トモ/橋本誠司/郡廣子/長沼敏恵/山田和美/寺田次朗/境田満/松田陸雄/横浜市立本牧中学校ボランティアの会/なか4D倶楽部
- 中区社会福祉協議会 善意銀行感謝** 手芸ボランティアグループ ひばり会/株式会社 清光社/伊勢佐木町1・2丁目地区商店街振興組合/中区消費生活推進協議会/株式会社 村内ファニチャーアクセス/本郷囃子連/株式会社 江戸清/横浜簡易宿泊事業協同組合/関内地区もちつき大会実行委員会/横浜中ライオンズクラブ/横浜市防犯健全協力会/株式会社 横浜スタジアム/徳永福次

※名簿への登載を希望されなかった方の氏名・団体名は載せておりません。

回覧																				
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

## 集え、311人!!

～私たちは3.11を忘れない～  
東日本大震災復興支援街頭募金

3月9日(土)、桜木町駅周辺を会場に、東日本大震災復興支援のための街頭募金を実施しました。当日は34団体230名のボランティアが集まり、震災後8年が経ち、今なお復興に向けて取り組んでいる被災地を想いながら募金を呼びかけました。**174,848円**の募金をお預かりしました。

当日は、地域の方々に加え多くの学生が参加し、元気に協力を呼びかけました。募金をしてくださった方は「もう8年も経ったのね…」と仰り、当時を思い出さきっかけになったようです。お預かりした募金は、大船渡市等の被災地の地域福祉の活動に役立てます。ご協力くださいましたみなさま、ありがとうございました。



## 中区防災&災害ボランティア講演会 開催しました!

2月27日(水)、一般社団法人 Smart Survival Project スマートサバイバープロジェクト特別講師 佐藤敏郎氏を講師として開催しました。民生委員、ボランティア、障害当事者の方々など約70名が参加し、会場を2か所に分けて実施しました。

佐藤先生には「3.11を学びに変える」というテーマのもと、中学生が俳句の授業を通して震災に向き合う過程や、多数の児童が犠牲になった大川小学校の出来事から学ぶ教訓等をお話いただきました。

防災とは、未来を語ること。未来の中区についてみんなで語り合えるよう、普段からの地域のつながりを大切に、今後も災害に強いまちづくりを進めていきたいと思っています。



暮らしの中にある福祉的な課題や困りごとによって住みにくさを感じていても、一人ひとりができることには限りがあります。地区社協はそうした課題を地域の課題として受け止め、つながりを活かして、地域の福祉課題を解決する住民主体の組織です。

ひとり暮らし高齢者の増加や地域のつながりの希薄化等によって、地域の中の福祉課題も複雑・多様化してきています。地区社協では、地域に住む高齢者、障害者、子育て世代等、すべての人が安心して暮らせるよう、福祉関係者や事業者、行政等と連携しながら、身近な地域の課題や福祉ニーズを把握し、解決にむけて取り組んでいます。



## 中区には13の地区社協があります

主に連合町内会を単位として、上記のとおり13の地区に分かれています。活動内容や構成メンバー等地区によって様々です。それぞれの地域の状況や課題に応じて、高齢者のふれあいサロンや食事会、健康教室、子育てサロン等の居場所づくり、暮らしの中の困りごとの支え合い活動や見守り活動等様々な活動を行っています。

## 第1中部地区社協

毎年7月、視覚障害者と青少年の交流ボウリング大会を開催しています。この大会は、ボウリングを通じて、青少年と視覚障害者、地区住民がともに集い、「障害」の理解を深めることを目的に開催しており、昨年7月には39回目をむかえました。毎回、横浜吉田中学校の生徒さんには、自らも楽しんでもらいながら、視覚障害のある方への投球の支援などお手伝いをしてもらっています。

この他にも、地区民生委員児童委員協議会主催の高齢者との交流事業（お花見の集い、高齢者食事会「おしゃべり会」）にも活動支援しているところです。

その他地区連合町内会、青少年指導員協議会、スポーツ推進委員協議会等、地域団体のみなさんと地域活動を通じて、みんなが笑顔でつながるまちづくりを目指して活動をしています。

〈第1中部地区の地域〉

曙町、伊勢佐木町、末広町、末吉町、羽衣町、福富町、蓬莱町、弥生町、吉田町、若葉町、長者町の一部



視覚障害者と青少年の交流ボウリング大会



高齢者食事会  
おしゃべり会



大岡川沿いの  
お花見の集い

## 第6地区社協

根岸森林公園を中心に、下町の温かみあふれる第6地区社協では、地域にくらすお年寄りと山元小学校の子どもたちの交流の場として、年に6回「ふれあい給食」を開催しています。4～6年生が毎回1クラスずつ、高齢者と一緒に給食を囲みます。学校で流行っていることや昔のまちの様子など、おいしい給食を前に、世代を超えてお喋りに花が咲きます。給食の後には子どもたちから歌のプレゼント。お年寄りも一緒に歌い、教室には明るい歌声が響き渡ります。

毎年2月には、次年度からふれあい給食の仲間入りをする3年生との「ふれあいの輪を広げる会」を開催。コマ回しやお手玉などの昔遊びを通して楽しい時間を過ごしました。

このふれあい給食での出会いをきっかけに、子どもが町中で挨拶をしてくれることも。地域の宝である子どもを中心に、第6地区のふれあいの輪は広がっていきます。

〈第6地区の地域〉

大芝台、大平町、塚越、寺久保、西竹之丸、根岸旭台、根岸台、箕沢、山元町、滝之上・山手町の一部

